



南舞岡小だより

学校教育目標「人・まち・自然に進んでかわり、自ら学びを深め、

共に生きる素晴らしさを感じ合うことができる子を育てます」

学校所在地 〒244-0814 横浜市戸塚区南舞岡4-15-1 (TEL823-4120,4130)

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamimaioka/>



夢中

学校長 地主 佐和子

新型コロナの流行前、全校遠足は、なかよしグループ（1年生から6年生の縦割りグループ）ごとに舞岡公園に出かけ、交流活動を行っていました。しかし、今年度はグループ編制はしたものの、感染対策として異学年の交流を中止していたため、例年通りの遠足は実施できない危機を迎えました。そこで発想転換し、縦割りグループ活動は難しいが、遠足という活動で子どもたちの心を満たせたらという思いを今年度は形にしてみました。夏休み後1ヶ月以上学級での時間が奪われた子どもたちに、学級のみんなで過ごす価値について考え、学級での充実した時間を取り戻すという願いを込めた全校遠足としたのです。このことを10月11日の始業式の講話で子どもたちに直接話をしました。

今年度はクラスのみんなで出掛けてください。クラスの友達と先生とで話し合っ、舞岡公園のどこで何をやるのか話し合っ決めてください。大事にしてほしいことを言います。お休みの友達は仕方ないですが、クラスのみんなが楽しく過ごせる、嫌な気持ちになる人がいない、そんな遠足をつくりたいと思います。前期にクラスみんなで過ごす時間は1ヶ月も少なくなりました。それを取り戻してほしいと思っています。全校遠足に限らず、今まで以上にクラスの絆が深まるようにどのクラスも取り組んで、みんなが幸せなクラスを作ってください。

当初の遠足日は雨天だったため予備日の10月20日に実施しました。鬼ごっこ、長縄、虫探し、かくれんぼ、ボール遊び、自由遊びという姿もあれば、ルールを説明する子や用具を配付する子など役割を果たしている姿もあり、鉛筆とメモで舞句を書いている姿もあり、どれもこれも子どもたちの行動としては想定内でした。想定外だったこと、それは夢中になっている姿とはこれだ、という発見でした。6年生が鬼ごっこを本気でやっている、木のテーブルを囲んで男子と女子が互いにつかまえよう、逃げようと真剣にやっているのです。1年生は女子全員で一斉に長縄に挑戦し、跳べるまで何度も繰り返す、その横で男子が応援しています。3年生が鬼ごっこを始めましたが、怪我をしてしまった女子はやりたくてやりたくて、養護教諭にやってもよいか聞いています。広い公園内で、夢中になってクラスの時間を深めている南舞岡の子どもたちに元気をもらい、そして夢中になることの素晴らしさを改めて考える機会となりました。恥ずかしながらここ最近の自分は、夢中になったことを思い出せません。集中して取り組んだことは浮かぶのですが、夢中になったとは言えません。目の前の今やることに夢中になって取り組むことは、大人子どもに関わらず達成感、満足感を生み出し、次への活力となるのだと思います。遠足の帰り、私は学校近くの横断歩道で全クラスを待ちました。「校長先生ただいま。」「(車を見てくれて)ありがとうございます。」「遅くなってすみません。クラスの思い出の時間を作ってきました。」など子どもの声を聞きながら、「夢中」を引き出す学校をこれからもという思いが強まりました。

来月にはスポーツフェスティバルを予定しております。感染対策を優先しながらの学校行事となりますので、夢中になる姿を引き出せるような練習、指導時間の確保が悩みどころです。また、保護者の皆様のお力なくしては行事の実施自体が難しくなります。ぜひこれまでもお願いしてありますように、また裏面に記載の内容についてもご協力をお願いいたします。